

せきょうろうニュース

発行 「瀬戸市教職員労働組合」
 瀬戸市八幡町455 暮山東小学校前
 (〒489-0862) Tel 0561-82-4404
 執行委員長 甲斐 雄彦

HP : http://www.aikyourou.jp/?page_id=231

**京都の小中一貫
(5小2中の統廃合、890人)で**

は合・10年かかりの構想

**約1割の不登校児
12名の加配教員**

**にじの丘の一貫校とは
違う体制**

（伊藤賢二）オーブン化で親近感が増し、子どもが生き生きしているのが伝わってきた。
 （戸田由久）市民から発して作られたので、保護者のクレームが無い。

令和元年9月9日、厚生文教委員会の傍聴をしました。以下は、行政視察で行った「京都市立 東山開晴館」についての委員会での各議員・市職員の感想や発言です。

（M.R.）良いので、将来的に取り入れると良い。不登校児は増えている。校長は一人で、リーダーシップを發揮している。体制をしっかりと整えることが必要ではないか。

（三宅聰）苦労があるのは当然のこと。乗り越えて行かねばならない。通学路は、地域の要望で進められた。

（新井あゆみ）5つの小学校2つの中学校で890人。10年がかりの構想でできた。

（木野良一）MRは学力向上コードの読み替えで使用でがいる。12名の教員加配がある。特別教室の割り振りや時間割をつくるのは、大変である。MRはバス通学

（水野良一）MRは学力向上につながり、瀬戸でも取り組める。正門の陶板が良かつた。9年目で慣れてきたことや、教員の団結力が高い。

（大岩三明）にじの丘をイメージして、視察してきた。子どもたちのためにいつた我々は、何をしなければならないのか、考えさせられない印象だつた。チーム開晴館は明るい印象

いて、議員間の意見交換や課題に対する取り組みについて課題の方向性が示されません。通学方法、バス代問題、配をどうするなど、瀬戸の課題をどう解決していくのかの検証が必要です。

5校の小中一貫校があり、校長1人、教頭2人である。うち1つが、開晴館は明るい印象

小中一貫教育問題

二学期、熱中症の猛威

人撫送

（滋賀・草津）

10日午前10時半頃、B小学校の稻刈りの校外学習中に5年生10人が、頭痛や嘔吐などの症状を訴え、病院に搬送。

ご協力署名に



運動会練習中に集団過呼吸

（東京・板橋）10日、東京A中学校で午前8時45分ごろからグラウンドで運動会の練習中、17人が過呼吸の症状を訴え、症状の重い男女6人の生徒が病院に搬送。

5年生10人が、頭痛や嘔吐などの症状を訴え、病院に搬送。

安全・健康・学習環境の整備のための教育環境の整備

資料
 学校環境衛生基準の一部改正について(通知)

平成30年4月2日
 29 文科初第1817号



- 飲料水の配布及び健康飲料水の使用許可
- 体育館に大型扇風機の設置
- 情報や対策の共通化が図られるといいます。
- 野外での活動禁止

（松原大介）廊下が広く、オーブンスペースになつていい。また。挨拶が良くできる。バスの定期券はICカードではなくなつた。学びなおすが課題になつている。

（小澤勝）朝礼を廃止し、朝読書を実施。9年生は「卒業論文」を書く。図書館の入り口で、デイスカッセスをかざす。学びの時間（MR）は、前期・後期に

少人数学級の前進をせんせいふやそうなどの国や県の責任で教育条件の整備を求めるものです。条11月末をめどに署名を集めています。ご協力お頼しいます。

（愛知・名古屋）10日午後3時半ごろ、C高校で体育祭の後片付けの最中、生徒が相次ぎ休憩をとります。熱中症対策で競技時間縮め、休憩を多くとる対策を行つていたという。急搬送。熱中症とみられる。熱中症対策で競技時間縮め、休憩を多くとる対策を行つていたという。

（瀬戸市内の学校で、とりわけ熱中症対策に様々な取り組みが行われました。運動会の朝練中止については、温度のみで判断せず、その他の環境条件及び児童生徒等の健康状態を観察した上で判断が望ましいものであることに留意すること。

（1）温度の基準については、健康を保護し、かつ快適に学習する上で、 28°C 以下に見直したところ。
 （2）希望しない温度の基準を 17°C 以上、 28°C 以下に見直したこと。
 1 教室等の環境に係る学校環境衛生基準関係

